

間伐枝を使ったチップづくり

チップってどうやってつくるの？

森の手入れで発生した枝葉



ウッドチップパー(剪定枝
粉碎処理車)にて粉碎



ウッドチップ
のできあがり



チップの活用

堆肥づくり



散策路づくり



枝葉をチップにすると...

- ① 緑の循環を体験する事で学びに繋がります
- ② 森を手入れする事で美しい森が作れます
- ③ チップ材を森づくりに活用できます
 - ・ マルチング利用
 - ・ 散策路づくり
 - ・ 堆肥づくり (カブトムシがくるかも)

詳しくは <https://www.yamahazouen.co.jp/>

チップ車1台で出来る

**循環型の
森づくり**

チップー車「タウンビーバー」の利用について



R6-9 版

SDG's や地域資源と言った考え方の中でどうしても取り残されがちだった「緑のリサイクル」山羽造園は身近な活動の中での循環型社会づくりの実体験をお手伝いします。通常は樹木系のゴミとして扱われている剪定枝ゴミをチップ化する事にはメリットしかありませんが、そのチップ化作業が今までは大きなネックとなっていました。通常のチップー機では騒音や粉塵が問題となり都市部での利用にはかなりの制約がありました、また更に大きなタブグラインダーになると騒音や粉塵だけでなく広い敷地や大型の重機等も必要になり簡易プラントのようになってしまうので結果的に金額や規模が大きくなりすぎていました。そんな中、山羽造園が所有するタウンビーバーは2t車ベースの大きさと車両として自走ができる上、チップ化した材はそのまま貯留槽に貯めていくので低粉塵、さらにはチップー本体も油圧駆動の為、低騒音なので街中や公園内でも安心して使うことができます

- ① 公共の用地等での里山整備ボランティア活動をしている団体
- ② 民有地での里山整備をしている方々
- ③ 環境問題に対し積極的に取り組んでおられる公共団体や指定管理者等
- ④ 工場等の緑地管理ゴミも資源として捉える事が出来るとお考えの企業等
- ⑤ 環境学習の1コマとして地域内資源循環を体験させてみたい教育機関等

一度、剪定枝粉碎車両「タウンビーバー」を使ってみるのはいかがでしょうか？

過去の主な協働作業場所

神戸市内	北神戸田園スポーツ公園 みなとの森公園 あいな里山公園 森林植物園 しあわせの村 神戸青少年公園 ひよどり台公園 春日台公園 多聞台東公園 会下山公園 桜が丘公園桜守 六甲山管理道 他	マルチング 堆肥化 カブトムシヤード設置 等
兵庫県内	明石公園 明石市立和坂小学校 尼崎の森公園 西宮市立甲山自然教育センター 神河町桜守 阿保親王墓 他	マルチング 堆肥化 カブトムシヤード設置 等

基本料金

平日全日(9:00~17:00) ¥60,000.- (税別) (土・日・祝日は10%割増になります)

平日半日(午前/午後) ¥36,000.- (税別) (休日は1日料金のみ)

※ 上記料金には操作オペレーター1名を含んでいます

※※ 基本作業としては破碎・運搬・排出です、チップ敷均し作業等は別途料金になります

※※※ 積込作業員が必要な場合は1名(全日¥25,000.- 半日¥15,000.-)となります

連絡先

神戸市北区有野町唐櫃4038-7

株式会社山羽造園 担当:山西・山村

TEL078-987-4128 FAX078-987-4129

MAIL: info@yamahazouen.co.jp

URL: https://www.yamahazouen.co.jp/